

拘禁刑導入の 背景と現状

21 NOV 2026 / OKAYAMA

改善のための矯正から、
再社会化のための更生へ。

PUNISHMENT / REHABILITATION / DIALOGUE

制度が変わるとき、 矯正現場では 何が起きるのか。

規律と更生、管理と主体性。
現場に生じる葛藤から、
これからの再社会化を考える。

2025年6月、拘禁刑が導入されました。制度の理念は、矯正施設の現場に何をもたらしているのでしょうか。矯正行政の現場と組織運営を知る中島学先生とともに、その現在地を学びます。



DATE / TIME

2026
11.21(土)

13:30-16:30

会場 きらめきプラザ401

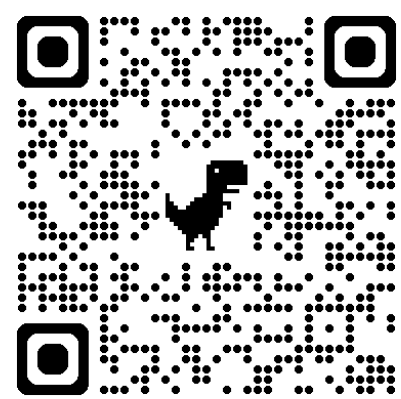
岡山市北区南方2丁目13-1 参加費無料
受付 13:00 / 定員 40名程度
参加対象者 介護・福祉・医療従事者、
このテーマに関心のある方

前半 | 講義

後半 | 対話型ワークショップ

参加申込 →

*申込締切11月14日



LECTURER

中島 学 先生

福山大学教授
博士(法学)・教育学修士・公認心理師

1988年法務省入省。赤城少年
院長、美祢社会復帰促進センタ
ー長、福岡少年院長等を歴任
し、札幌矯正管区長で退官。矯
正行政の現場と組織運営の双
方を知る。



講師詳細プロフィール→

矯正行政を知る人は、
なぜ今「対話」に可能性を見いだすのか。

